図書館だより

8月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
・	・				1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

○印　休館日
月曜日・月末館内整理日(29日)

桔梗やまた雨かへす峠口　蛇忽

桔梗は、早いものは初秋のころから咲きはじめ、優しい花容と美しい紫の花は印象深い。
（『最新俳句歳時記』より）

今月の新刊案内

一般図書

思想としてのパソコン　西垣　通
タイムシフティング
ステファン・レクトシャッフェン
運を天に任すなんて　城山三郎
旋風陣信長　津本　陽
香港ジレンマ　伊藤　潔
ペルー日本大使公邸人質事件
共同通信社ペルー特別取材班
大切な忘れもの　横川和夫
虫たちの謎めく生態
スー・ハベル
からだによい家100の知恵
吉田桂二
園芸病虫害の防ぎ方　桜井　廉
くらしを飾る粘土工芸　宮井和子
イラストでみるスポーツマッサージ
ジョアン・ジョンソン
正しく美しい日本語のしくみ
倉島長正
子役白書　早乙女朋子
奇跡の人　真保裕一
逃亡　帚木蓬生
源太郎の初恋　平岩弓枝
漆の実のみのる国　上・下
藤沢周平
奇貨居くべし　春風篇
宮城谷昌光
風吹き鶏　池部　良
みち草　大岡　信
エアフレーム　上・下
マイクル・クライトン
よその子　トリイ・ヘイデン
歯とスパイ
ジョルジョ・プレスブルゲル
外二三九冊

児童図書

あいちゃんの7日間パソコン教室
まんがお寺を知る本　1～6
海・森・人　鎌倉
ザリガニ観察事典
土の観察と実験
迷路ゲーム・ブック日本地図
ふしぎのくにのにほんご
空をとんだQネズミ
ミラクル・ファミリー
いじわる退治ひみつ組
魔法使いハウルと火の悪魔
とこちゃんうみへいく
ぼくのなまえはイラナイヨ
おてがみです
きつねのすきなめだまやき
外八三冊

声の図書

釈尊と生きる　1～10
歴史としての二十世紀　1～3
夏彦のラジオコラム　1～3
島田正吾ひとり芝居　白野弁十郎
怪談阿三の森
後家安とその妹　1・2
心中時雨傘
清水次郎長伝　10巻
一葉名作選　2・3
司馬遼太郎が語る
シャーロック・ホームズシリーズ　3・4
赤毛組合
ボヘミアの醜聞
まだらの紐
六つのナポレオン
黒猫／アッシャー家の崩壊
モルグ街の殺人事件

夏休み親子映画会

日時	8月10日(日)　午後1時30分～4時
場所	文化会館　4階大ホール
内容	「ぼくときどきぶた」 「狼森とざる森、盗人森」 「のっぺらぼう」 「ヒロシマに一番電車が走った」
対象	幼児・児童とその家族
料金	無料
問合先	市立図書館　☎(43)1324

心の健康シリーズ（52）

親の助言は「セールスマン」より「御用聞き」くらいがよい

今、子どもの自立がおくれ、中高校生になっても親や大人にすがったり、依存し、自分一人ではどうして良いやら判断できない人を見かけます。

つまり「指示待子」で、人にさしづされなければ、なにもできない、しない、というわけで、何をしようという意欲も、自信もないわけです。

なぜ、こうした子になってしまうのでしょう。

それは、親が子どもの小さい頃より、失敗しないように、つまづかないように先回りしてじょうずに出来るように手を出し、口を出してしまうからです。

人間が本当に賢くなるためには、失敗をして、そこから学び取ることがとても重要なことです。「失敗は成功の基」といわれています。

前月号で述べたように、親が一方的に判断して子どもを失敗させないようにすることより、失敗を怖がらない子に育てることが大切です。

子育ては、子どもが主役ですから子どもが正しく判断し、行動できるようにならなければなりません。

従って、一、二歳頃までは、助言もセールス的でも、三歳位から次第に御用聞きのようになるのが望ましいのです。

つまり、セールスマン的とは、一方的に利点を述べて、それを押しつけようとします。皆さんの中には、こうした押し売りに出会い「うるさいな」「しつこい」と思われたことがあると思いますが、あまり一方的に親の考えを押しつけがましく言うと子どももうるさくなって「もういいよ、あっちへ行って」となり、よかれと思った助言も逆効果となってしまいます。

一方、御用聞きの場合は「何かご用はありませんか」といいますが「これはいいものですよ、お得ですよ」とは言いません。

必要か必要でないかは、こちらで判断し決めれば良いわけです。

親の助言もこの様に子どもに対して御用聞きのようになって欲しいのです。「何かお母さんにして欲しいことある」と聞くのです。

子どもが、「ううん、ない」と言ったらよし、「これして」と言ったらそれに対して、意見を言うなり、手伝うなりすればよいのです。

セールスマンのように、決めつけた言い方は、一方的な命令であり、支配ですから考えさせたり、判断する余地がありません。

しかし、御用聞きなら、判断したり、決定は、あくまで子どもですから、子どもは主体的となります。

育児の悩みごとは教育相談室へ
☎(43)1323